

付録 インターネット模擬試験の案内

インターネット模擬試験をご利用の際は、事前に ID・パスワードの取得が必要です。巻末のはがきにご記入の上、ご投函ください。後日メールにてご連絡させていただきます。

★注意★

※添付はがき以外のお申し込みは受付致しませんので、ご注意ください。

以下「インターネット模擬試験」の利用法について解説します

まずは、インターネット模擬試験のホームページにアクセスして下さい。

URL <http://j-mogi.com>

以下に受験の流れについて説明します。

1) ログイン	解説
 <p style="text-align: center;">ログイン画面</p>	<p>・協会ホームページの<u>模擬試験</u>をクリックすると、左図のように「トップ画面」が表示されます。</p> <p>・ユーザ名とパスワードを入力したのち、「<u>ログイン</u>」をクリックして下さい。</p> <p>取得していない方は受験者登録を行って下さい。</p> <p>※発行された個人IDは今後ログインする際に必要となりますので、忘れないように記録しておいて下さい(パスワードも同様に記録して下さい)。</p>

2) 問題選択

ようこそ! guestさん
2009年7月18日(土) 14:51 JST

過去10年間 住宅地盤調査技術士問題

- 1999(平成11)年度 住宅地盤調査技術士問題 主任技術士問題
- 2000(平成12)年度 住宅地盤調査技術士問題 主任技術士問題
- 2001(平成13)年度 住宅地盤調査技術士問題 主任技術士問題
- 2002(平成14)年度 住宅地盤調査技術士問題 主任技術士問題
- 2003(平成15)年度 住宅地盤調査技術士問題 主任技術士問題
- 2004(平成16)年度 住宅地盤調査技術士問題 主任技術士問題
- 2005(平成17)年度 住宅地盤調査技術士問題 主任技術士問題
- 2006(平成18)年度 住宅地盤調査技術士問題 主任技術士問題
- 2007(平成19)年度 住宅地盤調査技術士問題 主任技術士問題

2008(平成20)年度
住宅地盤調査技術士
調査部門問題 設計施工部門問題
住宅地盤調査主任技術士
調査部門問題 設計施工部門問題

問題選択画面

解説

・ログイン終了後、「過去問題リンク」をクリックすると、各年度毎に試験問題が選択できます。
任意の年度を選択し、受験して下さい

※問題は資格別に選択出来ます。
尚、2008年度以降、部門別(調査部門・設計施工部門)と分かれています。

3) 回答

2001年度(平成13)

受験者数361名・合格率29.9%

住宅地盤調査技術士問題

以下の問いに答えなさい。

問1 次は、段丘に関する記述である。不適切なものを一つ選びなさい。(13p01)

- 河岸段丘は堆積段丘と侵食段丘に分けられる。このうち堆積段丘は昔の氾濫原などがその後の侵食作用で下刻されて段丘化したものである。
- 海岸段丘は侵食段丘であり、ほとんど岩盤だけからなる。これは波瀾によって削られ、常に表面が新鮮に保たれているからである。
- 一つの地塊に隆起して発達する段丘群では高位のものほど古く、低位のものほど新しい。
- 中部、関東、東北地方などでは低い段丘を除き、段丘面上を褐色の火山灰層、すなわちローム層が覆っていることがあり、これを沖積ローム段丘と呼んでいる。

問2 次は、沖積層に関する記述である。不適切なものを一つ選びなさい。(13p02)

- 河道位置が長い間に漂って固定し、安定した自然堤防のある地帯ほど、後背湿地の軟弱層は薄い。
- 沖積層は各地の平野にみられ、特に河川が緩い流速で流れるところで、水田が広がる緩急地帯(ほとんど沖積層からなる)によってよい。
- 小河川の出口では、主河川から供給された堆積物でせき止められて湖沼地を形成し、軟弱地盤を形成していることがある。
- 扇状地は沖積平野の入り口にあり、主に砂礫、玉石などからなる良好な地盤を形成している場合が多い。

問3 次は、土の基本的性質に関する記述である。不適切なものを一つ選びなさい。(13p03)

- 土の単位体積重量は、質量ではなく重量で考えた場合正しい。その値は重力の加速度と単位体積当たりの質量との積で求められる。
- 土の密度には、湿潤密度と乾燥密度がある。前者は湿潤状態、または後者は単に乾燥した後の土の単位体積当たりの重量をいう。
- 間隙比は、土の土粒子部分の体積に対する間隙部分(水+空気)の体積比であり、例えば間隙比が1.0であるということは、間隙部分の体積と土粒子の体積が等しい構造を有している状態を表わす。

回答画面

解説

・回答は4択です。
・各問題には、解説が添付されています。
・回答が全問終了後、「採点する」をクリックすれば、自分の成績が表示されます。
・問題を変更される場合は、画面右上の「模擬問題」をクリックして頂くと問題選択画面に戻ります。

4) 採点・解説

解説

採点結果です

問1	×	問2	×	問3	×	問4	×	問5	○
問6	×	問7	×	問8	×	問9	×	問10	×
問11	×	問12	×	問13	×	問14	×	問15	×
問16	×	問17	×	問18	×	問19	○	問20	×
問21	×	問22	○	問23	×	問24	×		

24問中 3問正解
もっと頑張りましょう

13点

採点

・採点結果は取得点数と、各設問の正誤が表示されます。

採点表示画面

解説カード

問1 砂丘列間の低地部(は埋間低地あるいは埋間湿地などと呼ばれ、比較的軟弱地盤であることが多い。)(00g01)

問2 自然堤防は河川の流路に沿って発達する。(00g02)

問3 突固めによる土の締固め試験は力学的性質の試験の範疇である。(00g03)

問4 シルトと砂の境界は75μm、砂と礫の境界は2.0mm、礫とコブの境界は75mm。(00g04)

問24 次は、地盤調査後に起こり得る事柄で、設計者や発注者に注意を喚起しておくべき事例の記述である。不適切なものを選べ。


解説

- 建物が近接するのり面部分の擁壁工事
- 予定建築物の大幅な配置変更
- 既存建築物の解体こともなう予想を上回る深さの掘削工事
- 軟弱地盤上にある宅地への高さ1.00m以上の盛土変更

解説一覧

・3)回答でも説明の通り、各設問毎に「解説」は閲覧することができますが、「解説一覧」でも全問の解説を一度に閲覧することができます。

解説表示画面

<p>5) その他</p>  <p>メッセージ送信画面</p>	<p>解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エラーによる、画面非表示等の不具合発生の場合は、「記事カテゴリ」の「お知らせ」に対処方法を掲載しております。 <p>※改善されない場合は、お手数ですが、住品協事務局まで後連絡下さい。</p>
<p>6) ログアウト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・試験終了後は「ユーザ情報」の「ログアウト」をクリックし、終了して下さい。 <p>以上でインターネット模擬試験の解説は終了です。</p>